

## 令和5年度 第2回君津市地域公共交通会議次第

日 時 令和5年8月29日（火）

午前10時から

場 所 君津市役所5階大会議室

### 1 開会

### 2 議題

(1) 令和4年度君津市地域公共交通網形成計画の評価について（資料1）

(2) 君津市地域公共交通計画（骨子案）について（資料2）

### 3 報告事項

(1) スクールバスを活用した実証運行について（資料3）

### 4 その他

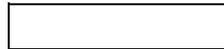
### 5 閉会

#### 【配布物】

- ・ 次第
- ・ 席次表
- ・ 令和5年度君津市地域公共交通会議委員名簿
- ・ 令和4年度君津市地域公共交通網形成計画の評価について（資料1）
- ・ 君津市地域公共交通計画（骨子案）について（資料2）
- ・ スクールバスを活用した実証運行について（資料3）

<席次表>

君津地区住民代表  
林 正幸 副会長



日本大学工学部  
交通システム工学科 特任教授  
藤井 敬宏 委員

小糸地区住民代表  
新藤 和巳 委員

清和地区住民代表  
榛澤 公進 委員

上総地区住民代表  
齋藤 健吉 委員

久留里線輸送力を促進する会 会長  
平野 利夫 委員

君津商工会議所 専務理事  
齊藤 敦 委員

君津市観光協会 会長  
川名 正志 委員(代理 山本 朱美 様)

君津市管理課 課長  
亀田 達也 委員

国土交通省関東運輸局  
千葉運輸支局 首席運輸企画専門官  
小林 聡 委員(代理 高橋 直人 様)

千葉県交通計画課 企画調整班長  
小松 直人 委員

東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社  
企画総務部経営戦略ユニット リーダー  
正能 俊輔 委員

千葉県タクシー協会 南房支部長  
手塚 真一 委員

日東交通(株) 運輸部長  
高橋 晴樹 委員

大新東(株) 営業販促室 室長  
藤代 純一 委員

(オブザーバー)  
国土交通省関東運輸局  
交通政策部交通企画課 課長  
松木 拓 様

事務局

入  
口

片倉 文策 寛室	交通 政策 文策 寛室	馬場 貴也 部	企画 政策 貴也 部	鈴木 広夫 部	企画 政策 広夫 部	中村 峰之 課	企画 調整 峰之 課
室長	室長	次長	次長	部長	部長	課長	課長

事務局

倉見 信司 系長	市民 活動 支援 係長	竹内 裕太 主任 主事	交通 政策 裕太 主任 主事	茅野 和佳子 副主 査	交通 政策 和佳子 副主 査	久保 亮 主任 主事	交通 政策 亮 主任 主事	株式 会社 技術 研究所	建設 株式 会社 技術 研究所
----------	-------------	-------------	----------------	-------------	----------------	------------	---------------	--------------	-----------------

令和5年度 君津市地域公共交通会議委員名簿

	氏名	職名等	委嘱期間	備考
1	こばやし さとる 小林 聡	関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	R5. 4. 28～R6. 1. 31	
2	うてな ゆういちろう 臺 雄一郎	千葉県君津警察署 交通課長	R4. 3. 22～R6. 1. 31	
3	なりた ひとし 成田 斉	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	R4. 2. 1～R6. 1. 31	
4	こまつ なおと 小松 直人	千葉県交通計画課 企画調整班長	R5. 4. 28～R6. 1. 31	
5	てづか しんいち 手塚 真一	千葉県タクシー協会 南房支部長	R4. 2. 1～R6. 1. 31	
6	たかはし はるき 高橋 晴樹	日東交通株式会社 運輸部長	R4. 2. 1～R6. 1. 31	
7	ふじしろ じゅんいち 藤代 純一	大新東株式会社 営業販促室 室長	R4. 2. 1～R6. 1. 31	
8	こばやし よしみ 小林 喜美	大新東株式会社友愛会 君津支部長	R4. 2. 1～R6. 1. 31	
9	はやしまさゆき 林 正幸	君津地区住民代表	R4. 2. 1～R6. 1. 31	副会長
10	しんどう かずみ 新藤 和巳	小糸地区住民代表	R4. 2. 1～R6. 1. 31	
11	はんざわ こうしん 榛澤 公進	清和地区住民代表	R5. 4. 28～R6. 1. 31	
12	とうじょう ひろし 東城 博	小櫃地区住民代表	R5. 4. 28～R6. 1. 31	
13	さいとう けんきち 齋藤 健吉	上総地区住民代表	R5. 4. 28～R6. 1. 31	
14	さいとう あつし 齋藤 敦	君津商工会議所 専務理事	R4. 2. 1～R6. 1. 31	
15	かわな まさし 川名 正志	君津市観光協会会長	R4. 2. 1～R6. 1. 31	
16	しょうのう しゅんすけ 正能 俊輔	東日本旅客鉄道株式会社千葉支社 企画総務部経営戦略ユニットリーダー	R5. 7. 21～R6. 1. 31	
17	やすだ ひであき 保田 英明	千葉県君津土木事務所 調整課長	R5. 5. 20～R7. 5. 19	
18	かめだ たつや 亀田 達也	君津市管理課長	R5. 5. 20～R7. 5. 19	
19	ひらの とお 平野 利夫	久留里線輸送力を促進する会会長	R5. 5. 20～R7. 5. 19	
20	ふじい たかひろ 藤井 敬宏	日本大学理工学部 交通システム工学科 特任教授	R5. 5. 20～R7. 5. 19	アドバイザー

# 議題 1 令和 4 年度君津市地域公共交通網形成計画の評価について

## 1 概要

平成 28 年 3 月に策定した君津市地域公共交通網形成計画の実施にあたっては、事業の実施状況・導入効果及び目標指標の達成状況を、定期的に確認・評価・検証を行い、必要に応じて見直しを行う PDCA サイクルに基づき進捗管理を行うものとしています。

本議題では、令和 4 年度の実施状況等について君津市地域公共交通網形成計画に掲載されている指標（「公共交通利用者数」、「市の公共交通に対する財政負担額」、「受益者負担割合」）及び事業の評価内容について本交通会議で協議するものです。

なお、過年度で事業が完了し、地域公共交通会議で承認を得たものについても「完了」評価で掲載しています。

## 2 評価基準

### ア) 指標評価

評価基準	評価
目標を達成している。	A
概ね目標達成が見込まれる。	B
目標達成に向けて一部課題がある。	C
このままでは目標達成は困難である。	D

### イ) 事業評価

評価基準	評価
事業が完了した。	完了
事業は順調に実施されている。	実施
事業の実施・進捗状況には一部課題がある。	一部実施
事業を実施していない。	未実施

### 3 指標評価一覧

評価指標	指標の定義	目標値 (R5)	実績値 (R4)	評価
公共交通利用者数	高速バス利用者数 (君津市内バス停の利用者数)	781,300 人	455,278 人	C
	路線バスの利用者数 (補助路線)	755,200 人	599,423 人	C
	コミュニティバスの利用者数	240,000 人	208,327 人	C
	デマンドタクシーの利用者数	20,000 人	11,146 人	C
	デマンドタクシーの観光利用客数 (利用登録がない方の利用)	600 人	969 人	A
市の公共交通に対する財政負担額	路線バス・コミュニティバス・ デマンドタクシーの運行に要する 市の財政負担額	137,966 千 円以内	194,503 千円	C
受益者負担割合	コミュニティバスの収支率	50%	18.4%	C
	デマンドタクシーの収支率	25%	6.6%	C

#### 4 事業評価一覧

No.	事業名	評価
1	鉄道の利便性向上	—
	ア 鉄軌道の維持・確保・運行サービスの向上及び要望活動	実施
	イ 久留里線沿線地域における利用促進活動	実施
2	高速バスの利便性向上	—
	ア 高速バスの増便・新規路線の運行	実施
3	路線バスの運行サービス改善・運行見直し	—
	ア 交通結節点における乗り継ぎダイヤの見直し	実施
	イ ICカードの導入による利便性の向上	一部実施
	ウ 路線の再編を含めた運行の見直し	実施
	エ ホームページ等における利用者に分かりやすい情報提供	実施
4	コミュニティバスの運行サービスの改善・運行見直し	—
	ア 交通結節点における乗り継ぎダイヤの見直し	実施
	イ 事業性の高い路線の自主運行化	一部実施
	ウ コミュニティバスの運行形態の統一	完了
	エ 受益者負担の見直し	未実施
5	デマンドタクシーの運行サービスの改善・運行見直し	—
	ア 効率的な配車や乗合い乗車の推進	実施
	イ 受益者負担の見直し	未実施
	ウ 回数乗車券の導入	完了
6	交通結節点の強化及び待合環境の整備	—
	ア 君津駅北口のバス停上屋の整備	完了
	イ 君津バスターミナルの機能強化	完了
7	バス車両のバリアフリー	—
	ア 低床バスの導入促進	一部実施
8	地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の取組	—
	ア 支援制度の構築	完了
9	多様な運賃制度の導入	—
	ア 乗り継ぎ割引運賃の設定、企画切符の販売	実施
10	利用促進策による潜在需要の掘り起こし	—
	ア 公共交通マップの作成、モビリティマネジメント、お出かけ支援プログラム、公共交通イベントの開催、ラッピング車両の運行、観光客を対象とした公共交通のPR	実施

# 評価指標の達成状況

## 1 公共交通利用者数

評価指標		高速バス利用者数 (君津市内バス停の利用者数)		
計画策定時(H26)		目標値(R5)	実績値(R3)	実績値(R4)
758,533人		781,300人	327,397人	455,278人
評価	C			
概況及び今後の取組	<p>高速バスの利用者数は前年度と比べ約12.7万人増加し、新型コロナウイルス感染症の影響等により減少していた利用者は復調傾向にある。 引き続き、事業者と協力し、路線数や便数を維持しサービスを確保するとともに、既存事業の高速バス通学者への支援等を実施し利用促進を図る。</p>			
内訳		R2	R3	R4
君津～東京線		211,695人	266,209人	369,671人
君津～羽田空港線		23,426人	23,686人	14,838人
館山・君津～横浜駅・羽田空港線		8,802人	15,528人	31,578人
鴨川～東京線		6,805人	8,954人	12,197人
鴨川～千葉線		6,504人	6,932人	8,183人
館山～新宿線 ※R3年7月～君津BTに乗り入れ			5,814人	18,577人
君津～京都・大阪線 ※R3年12月～運行開始 ※R5年2月～3月の間運休			274人	234人
君津～新宿線 ※R2年4月13日から運休		430人		
鴨川～渋谷線 ※R2年5月から6月及び10月以降運休		47人		

評価指標		路線バスの利用者数(補助路線)		
計画策定時(H26)		目標値(R5)	実績値(R3)	実績値(R4)
746,176人		755,200人	549,760人	599,423人
評価	C			
概況及び今後の取組	<p>路線バスの利用者数は、前年度と比べ約5万人増加し、新型コロナウイルス感染症の影響等により減少していた利用者は復調傾向にある。 引き続き、利用状況を把握し、バスの乗り方教室の実施や公共交通の利点を市ホームページ等で周知するなど公共交通の利用促進を図る。</p>			
内訳		R2	R3	R4
三島線		28,635人	27,211人	29,921人
畑沢線		48,412人	43,691人	51,398人
富津線		135,791人	138,143人	143,445人
木更津・鴨川線		24,708人	25,892人	29,602人
周西線		59,998人	55,673人	61,980人
君津市内循環線		173,485人	181,528人	193,351人
高倉アカデミア線		30,534人	30,163人	39,075人
鹿野山線		5,749人	9,495人	9,298人
イオンモール富津線		31,567人	22,847人	25,507人
富津市役所・君津駅線		17,047人	15,117人	15,846人

評価指標		コミュニティバスの利用者数		
計画策定時 (H26)		目標値 (R5)	実績値 (R3)	実績値 (R4)
238,732人		240,000人	189,476人	208,327人
評価	C			
概況及び今後の取組	<p>コミュニティバスの利用者数は、前年度と比べ約1.9万人増加し、新型コロナウイルス感染症の影響等により減少していた利用者は復調傾向にある。 引き続き、利用状況を把握し、バスの乗り方教室の実施や公共交通の利点を市ホームページ等で周知するなど公共交通の利用促進を図る。</p>			
内訳		R2	R3	R4
小糸川循環線		138,018人	141,894人	154,563人
人見・大和田・神門線		28,810人	29,859人	34,993人
中島・豊英線		17,733人	17,723人	18,771人

評価指標		デマンドタクシーの利用者数		
計画策定時 (H26)		目標値 (R5)	実績値 (R3)	実績値 (R4)
16,268人		20,000人	10,047人	11,146人
評価	C			
概況及び今後の取組	<p>デマンドタクシーの利用者数は、新型コロナウイルスワクチン接種支援事業の実施等により、前年度と比べ約1,100人増加しており、復調傾向にある。 引き続き、安全・安心な運行を確保しつつ、利便性の向上に努めていく。</p>			

評価指標		デマンドタクシーの観光利用客数 (利用登録がない方の利用)		
計画策定時 (H26)		目標値 (R5)	実績値 (R3)	実績値 (R4)
451人		600人	799人	969人
評価	A			
概況及び今後の取組	<p>デマンドタクシーの観光利用客数は、前年度と比べ170人増加し、新型コロナウイルス感染症の影響等により減少していた観光利用客数は復調傾向にある。 市のSNS等を活用して観光客に情報発信するなど、引き続き積極的な周知に取り組んでいく。</p>			

## 2 市の公共交通に対する財政負担額

評価指標		路線バス・コミュニティバス・デマンドタクシーの運行に要する市の財政負担額		
計画策定時(H26)		目標値(R5)	実績値(R3)	実績値(R4)
137,966千円		現況の負担額の範囲内	177,421千円	194,503千円
評価	C			
概況及び今後の取組	<p>路線バスの利用者数は増加し、事業者における収支率は改善されているものの、国からの追加補助額が昨年度に比べ減額していることから市の財政負担額は増加した。</p> <p>一方、コミュニティバス及びデマンドタクシーにおいては、収入面で前年度と比べ微増したものの、支出面では、昨年度と同程度の経費が掛かっており、依然として市の財政負担割合が大きい。</p> <p>引き続き、バスの乗り方教室の実施や公共交通の利点を市ホームページ等で周知するなど公共交通の利用促進を図る。</p>			
内訳		R2	R3	R4
コミバス等	小糸川循環線	41,601,113円	39,908,192円	39,517,646円
	人見・大和田・神門線	16,895,374円	19,962,804円	19,820,340円
	中島・豊英線	39,639,226円	46,582,680円	46,701,836円
	デマンドタクシー	36,811,680円	36,308,276円	36,626,500円
路線バス	三島線	3,362,679円	1,476,855円	3,502,687円
	畑沢線	1,450,122円	670,174円	1,306,004円
	富津線			
	木更津・鴨川線	1,522,039円	5,919,177円	7,206,402円
	周西線	24,778,270円	18,311,602円	16,569,116円
	君津市内循環線	6,971,270円	2,364,650円	17,735,037円
	高倉アカデミア線	230,099円	56,939円	126,089円
	鹿野山線	987,827円	875,163円	825,110円
	イオンモール富津線	862,456円	891,321円	537,609円
	富津市役所・君津駅線	4,526,444円	4,093,012円	4,028,177円

### 3 受益者負担割合

評価指標		コミュニティバスの収支率			
計画策定時(H26)		目標値(R5)	実績値(R3)	実績値(R4)	
35.2%		50.0%	18.0%	18.4%	
評価	C				
概況及び今後の取組	<p>コミュニティバスの利用者数は増加し、収入においても増加したものの、経費は前年度と概ね同額なことから、目標値には及ばず収支率は低迷している。 引き続き、安全・安心な運行を確保しつつ、公共交通の利促進を図る。</p>				
内訳		R2	R3	R4	
小糸川循環線		28.4%	31.3%	32.1%	
人見・大和田・神門線		13.4%	13.4%	14.0%	
中島・豊英線		4.8%	4.4%	4.1%	

評価指標		デマンドタクシーの収支率			
計画策定時(H26)		目標値(R5)	実績値(R3)	実績値(R4)	
14.2%		25.0%	7.4%	6.6%	
評価	C				
概況及び今後の取組	<p>新型コロナウイルスワクチン接種支援事業(公共交通利用券の配布)の実施等により、前年度と比べ、利用者数は増加しているものの、経費は前年度と概ね同額となることから、目標値には及ばず収支率は低迷している。 引き続き、安全・安心な運行を確保しつつ、公共交通の利促進を図る。</p>				

## 事業の実施状況

事業1	鉄道の利便性向上											
<b>ア</b>	<b>鉄軌道の維持・確保・運行サービスの向上及び要望活動</b>											
実施状況	実施主体				実施年次							
<b>実施</b>	君津市	交通事業者	市民 (地域住民)	その他 関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○			→							
<b>概 要</b>												
JR内房線及び久留里線の運行を維持・確保するとともに、JR久留里線における交通系ICカードの導入など利用者にとって利用しやすい運行サービスの提供など鉄道事業者への要望を継続する。												
<b>取 組 状 況</b>												
<p>○主な要望事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR内房線 運行本数の維持、ワンマン運転化に伴う安全管理の徹底及び障害者・高齢者への配慮についてB.B.BASE鹿野山の定期運行、特急列車内でのテレワーク環境の整備</li> <li>・JR久留里線 運行本数の維持、ワンマン運転化に伴う安全管理の徹底及び障害者・高齢者への配慮について災害等による運休からの早期運転再開、菜久留トレインの定期運行、ICカード利用への対応、車両とホームとの段差解消、全ての踏切への警報機及び遮断機の設置</li> </ul> <p>鉄道事業者に対して上記の要望を行い、B.B.BASE鹿野山コースの定期的な運行が実現した。</p>												
<b>今 後 の 方 針</b>												
今後も公共交通の利用促進を図るとともに、市内を運行する路線の運行本数の維持等について、鉄道事業者に要望していく。												

事業1	鉄道の利便性向上											
<b>イ</b>	<b>久留里線沿線地域における利用促進活動</b>											
実施状況	実施主体				実施年次							
<b>実施</b>	君津市	交通事業者	市民 (地域住民)	その他 関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○	○		→							
<b>概 要</b>												
久留里線沿線の豊富な観光資源を活かし、各種イベントの開催や環境美化活動など地域及び沿線市とも連携しながら利用促進を図る。												
<b>取 組 状 況</b>												
<p>JR久留里線の沿線市である君津市、木更津市、袖ヶ浦市と千葉県及びJR東日本千葉支社の5者が連携し、久留里線の利便性向上と利用促進及び沿線地域の活性化を図った。</p> <p>小学生向けの乗車体験のほか、沿線の店舗と連携し、地酒等を楽しむイベントを実施するなど、JR久留里線の利用促進に取り組むとともに、沿線地域の活性化に向けた交流人口の増加に努めた。</p>												
<b>今 後 の 方 針</b>												
今後も沿線住民、沿線市及び鉄道事業者等と連携しながら、JR久留里線の利用促進に取り組んでいく。												

事業2	高速バスの利便性向上											
ア	高速バスの増便・新規路線の運行											
実施状況	実施主体				実施年次							
実施	君津市	交通事業者	市民(地域住民)	その他関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○			→ 可能な段階で実施							
概要												
<p>東京湾アクアライン等を経由して都心などの主要都市を結ぶ高速バスは、市民や対岸からの来訪者の交通手段として重要な役割を果たしている。より利便性を高めるため、利用ニーズの高い路線の増便や新たな方面への路線の運行について高速バス運行事業者に要望し、実現を目指す。</p>												
取組状況												
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により運休となっていた路線や運行便の再開を働きかけた。 また、高速バスの利便性向上に向けた取組みとして以下のとおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館山・君津～横浜駅・羽田空港線において、回数券を廃止し、定期券(紙・WEB)を新設</li> <li>・令和4年9月17日よりバスターミナル東京八重洲に乗り入れを開始し、雨天時にも濡れることなく移動が可能になった</li> </ul>												
今後の方針												
高速バスの利便性を確保するため、交通事業者と連携を図る。												

事業3	路線バスの運行サービスの改善・運行見直し											
ア	交通結節点における乗り継ぎダイヤの見直し											
実施状況	実施主体				実施年次							
実施	君津市	交通事業者	市民(地域住民)	その他関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○			→ 関係機関との調整により、随時実施							
概要												
<p>君津駅や君津バスターミナルなどの交通結節点における鉄道や高速バス、コミュニティバスとの乗り継ぎダイヤの調整を行う。</p>												
取組状況												
<p>令和5年3月 JR東日本のダイヤ改正を受け、関係する路線バスに係るダイヤ改正の有無を確認。現行ダイヤに影響がないことからダイヤ改正を見送った。</p>												
今後の方針												
<p>路線バスの交通結節点における接続改善を図るため、運行ダイヤの見直しについて運行事業者に働きかけていく。</p>												

事業3	路線バスの運行サービスの改善・運行見直し											
イ	ICカードの導入による利便性の向上											
実施状況	実施主体				実施年次							
一部実施	君津市	交通事業者	市民(地域住民)	その他関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
		○			→-----→							
概 要												
市民の日常生活の移動を支える地域内交通の幹線となる路線バスの利便性を向上させるため、ICカードの導入を行う。												
取 組 状 況												
君津市内を運行している路線バスのうち、9割の路線にICカードが導入されており、5～6割程度の利用実績がある。昨年度と比べ利用実績も1～2割程度、増加している。引き続き全路線導入に向けて事業者働きかけを。												
今 後 の 方 針												
引き続き、ICカード導入を交通事業者働きかけるとともに、市のホームページ等を活用して、バスでもICカードが利用できることを周知するなど、ICカード利用を推進していく。												

事業3	路線バスの運行サービスの改善・運行見直し											
ウ	路線の再編を含めた運行の見直し											
実施状況	実施主体				実施年次							
実施	君津市	交通事業者	市民(地域住民)	その他関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○	○	○	→ 可能な段階で実施							
概 要												
広大な市域をカバーする路線について、効率よくかつ利用者のニーズに合った運行とするため、路線の再編を含めた運行の見直しを実施していくもの。												
取 組 状 況												
千葉県バス対策地域協議会を通じて、木更津市、富津市、君津市及び交通事業者による協議を行った。その他、周西線等の路線の再編について、ルートの見直しを進めるなど効率的で利便性の高い路線となるよう交通事業者と連携して協議を進めた。												
今 後 の 方 針												
交通事業者のドライバー不足が深刻化している状況において、効率的で利便性の高い路線となるよう交通事業者と連携して再編を検討していく。												

事業3	路線バスの運行サービスの改善・運行見直し											
エ	ホームページ等における利用者に分かりやすい情報提供											
実施状況	実施主体				実施年次							
実施	君津市	交通事業者	市民(地域住民)	その他関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○			→							
概 要												
市のホームページ等において、路線バスのダイヤ改正、運行経路及び時刻表等について、利用者に分かりやすい情報提供を行う。												
取 組 状 況												
公共交通の運行情報などを市のホームページやLINE、メール配信等の多様な媒体を用いて、公共交通利用者に提供した。												
今 後 の 方 針												
多様な周知媒体を駆使し、利用者への情報提供を行う。												

事業4	コミュニティバスの運行サービスの改善・運行見直し											
ア	交通結節点における乗り継ぎダイヤの見直し											
実施状況	実施主体				実施年次							
実施	君津市	交通事業者	市民(地域住民)	その他関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○			→							
関係機関との調整により、随時実施												
概 要												
鉄道や高速バス、路線バスとの乗り継ぎダイヤを調整し、各交通モードと連携することで利用者の増加を図る。												
取 組 状 況												
交通結節点の君津駅において電車との乗り継ぎを考慮し、接続が10分以内となるようコミュニティバス人見・大和田・神門線をダイヤ改正した。結果として、接続が10分以内となる便数が12便から16便に増加した。												
今 後 の 方 針												
JRのダイヤ改正や利用者ニーズ等を踏まえながら、運行ダイヤの見直しを行い、乗継利便性の向上に努める。												

事業4	コミュニティバスの運行サービスの改善・運行見直し											
イ	事業性の高い路線の自主運行化											
実施状況	実施主体				実施年次							
一部実施	君津市	交通事業者	市民(地域住民)	その他関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○			→ 可能な段階で実施							
概 要												
<p>市が運行しているコミュニティバス路線で、ある程度事業性の高い路線について、路線バスとして民間バス事業者による運行可能性を検討する。</p>												
取 組 状 況												
<p>新型コロナウイルス感染症等の影響により収支率が低迷していることから、交通事業者への働きかけを見送ったものの、収支率を向上させるため、コミュニティバスの最適化に向けて交通事業者と協議した。</p>												
今 後 の 方 針												
<p>今後も収支率が比較的高いコミュニティバス路線について、路線バスとして自主的な運行が行えないか交通事業者と協議するとともに、コミュニティバスの最適化について検討していく。</p>												

事業4	コミュニティバスの運行サービスの改善・運行見直し											
ウ	コミュニティバスの運行形態の統一											
実施状況	実施主体				実施年次							
完了	君津市	交通事業者	市民(地域住民)	その他関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○			→ 関係機関との調整 実施							
概 要												
<p>運行上の安全管理の観点等からコミュニティバスの運行形態を一般乗合旅客運送事業に統一する。</p>												
取 組 状 況												
<p>令和2年12月1日からコミュニティバス人見・大和田・神門線及び中島・豊英線3路線の運行形態を道路運送法第4条に基づく一般乗合旅客自動車運送事業に変更し、コミュニティバス3路線すべての運行形態が統一された。</p>												
今 後 の 方 針												

事業4	コミュニティバスの運行サービスの改善・運行見直し											
エ	受益者負担の見直し											
実施状況	実施主体				実施年次							
未実施	君津市	交通事業者	市民(地域住民)	その他関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○		○		→ 関係機関との調整 実施							
概要												
市民負担の公平性の観点や民間の路線バスの運賃体系を考慮し、受益者負担の見直しを行う。												
取組状況												
新型コロナウイルス感染症等の影響により減少していた利用者数の復調具合を見極めていく段階のため、受益者負担の見直しを見送った。												
今後の方針												
社会状況を考慮しながら、コミュニティバスのあり方の検討と併せて、受益者負担の見直しを検討していく。												

事業5	デマンドタクシーの運行サービスの改善・運行見直し											
ア	効率的な配車や乗合い乗車の推進											
実施状況	実施主体				実施年次							
実施	君津市	交通事業者	市民(地域住民)	その他関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○	○		→							
概要												
限られた車両により広域なエリアを運行しているため、効率的な配車や乗合い乗車の推進などにより、利用者の増加を図る。												
取組状況												
予約状況に応じて可能な限りオペレーターが調整し、効率的な配車に努めた。一方で、利用が集中する時間があり、予約が重なり1日に2～3件程度予約を断っている状況がある。												
今後の方針												
引き続き予約状況に応じて可能な限りオペレーターが調整し、効率的な配車に努めるとともに、さらなる利便性の向上に努めていく。												

事業5	デマンドタクシーの運行サービスの改善・運行見直し											
イ	受益者負担の見直し											
実施状況	実施主体				実施年次							
未実施	君津市	交通事業者	市民(地域住民)	その他関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○		○									
概要												
市民負担の公平性の観点から受益者負担の見直しを行う。												
取組状況												
新型コロナウイルス感染症等の影響により減少していた利用者数の復調具合を見極めている段階のため、受益者負担の見直しを見送った。												
今後の方針												
社会状況を考慮しながら、今後のあり方を検討するとともに、受益者負担の見直しについても検討していく。												

事業5	デマンドタクシーの運行サービスの改善・運行見直し											
ウ	回数乗車券の導入											
実施状況	実施主体				実施年次							
完了	君津市	交通事業者	市民(地域住民)	その他関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○											
概要												
コミュニティバス利用者との公平性の観点から回数乗車券の導入等により利便性の向上を図る。												
取組状況												
コミュニティバス・デマンドタクシー共通回数乗車券を作成し、平成30年4月から実施している。												
今後の方針												
市のホームページ等を活用して共通回数乗車券の利便性や経済性を周知するなど、共通回数乗車券の利用を推進していく。												

事業6	交通結節点の強化及び待合環境の整備											
ア	君津駅北口のバス停上屋の整備											
実施状況	実施主体				実施年次							
完了	君津市	交通事業者	市民 (地域住民)	その他 関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○				→							
概要												
君津駅北口について、バス停の上屋を整備し、利用環境の向上を図る。												
取組状況												
君津駅北口のバス停の上屋を整備し、鉄道、バス、タクシーへの乗り換え時の快適性が向上し、交通結節点としての機能向上が図られた。												
今後の方針												

事業6	交通結節点の強化及び待合環境の整備											
イ	君津バスターミナルの機能強化											
実施状況	実施主体				実施年次							
完了	君津市	交通事業者	市民 (地域住民)	その他 関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○			→ 可能な段階で実施							
概要												
君津バスターミナルにおいては、バス停の上屋、ベンチ、待合所及び公衆無線LAN(Wi-Fi)が整備され、また高速バス利用のためのパーク&ライド駐車場が整備されている。今後は、より利用しやすい環境を提供するために、高速バス・路線バス・コミュニティバスの乗り継ぎ利便性の向上を図り、ハブ&スポーク方式(1つの拠点に路線を集約し、そこから各方面の路線に乗継できるようにする方式)の導入など新たな運行方式の検討を行う。												
取組状況												
平成31年4月より、駐車料金の支払いがICカードでも可能となり、駐車場の利便性が向上した。 令和元年には歩行者通路の舗装や防護柵の修繕等を行った。 君鴨ライナーの運行ダイヤを編成する際に、君津バスターミナルでの高速バスとの乗継時間を考慮し、乗り継ぎ利便性の向上を図った。												
今後の方針												

事業7	バス車両のバリアフリー											
ア	低床バスの導入促進											
実施状況	実施主体				実施年次							
一部実施	君津市	交通事業者	市民(地域住民)	その他関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○			→							
概要												
<p>子どもや妊産婦、高齢者等が乗降しやすいように、路線バスやコミュニティバスにおける低床バス(ノンステップバス、ワンステップバス)の導入を促進する。</p>												
取組状況												
<p>市内で路線バスを運行している交通事業者に対し、低床バスの導入を呼びかけた。 現在の導入状況は、全110台のうち101台(91.8%)が低床バスである。(令和5年3月末時点)※コロナ禍の影響もあり車両導入できず昨年度から変更なし。</p>												
今後の方針												
<p>今後も低床バスの導入を要望していく。</p>												

事業8	地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の取組											
ア	支援制度の構築											
実施状況	実施主体				実施年次							
完了	君津市	交通事業者	市民(地域住民)	その他関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○	○	○	→ 制度・支援メニューの検討 可能な段階で実施							
概要												
<p>公共交通を持続可能なものにしていくためには、行政や交通事業者だけではなく、地域(住民)自らが公共交通を創り・守り・育てる選択肢もある。 そのため、新たな地域におけるコミュニティバスやデマンドタクシーの運行については、地域が主体となり、地域に必要な公共交通のあり方を検討し、地域自らが移動手段を確保する取組を促進していくための仕組みの構築を検討する。 また、地域が主体となった取組をサポートする行政の支援制度を検討し、行政・交通事業者・市民の役割分担のもと協働による取組を推進する。</p>												
取組状況												
<p>地域主体の交通の導入に向けて、清和地区の住民及び当該地区で活動するNPO法人2団体と意見交換を行うとともに、地域主体の交通の導入に係る調査研究費に対する補助金制度を創設した。</p>												
今後の方針												
<p>住民との協働により地域の交通利便を向上させる取り組みを検討していく。</p>												

事業9	多様な運賃制度の導入											
ア	乗り継ぎ割引運賃の設定、企画切符の販売											
実施状況	実施主体				実施年次							
実施	君津市	交通事業者	市民 (地域住民)	その他 関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○			→ 可能な段階で実施							
概 要												
<p>バスからバスへの乗り継ぎにおける運賃抵抗を軽減するために、乗り継ぎ割引運賃の設定等について、導入を検討する。</p> <p>また、公共交通の利用促進と地域の活性化を図るため、市内の観光事業者・商業事業者等との連携による公共交通の利用に付加価値を付けた企画切符の販売などを検討する。</p>												
取 組 状 況												
<p>小糸地区におけるスクールバスを活用した実証運行において、公共交通機関への乗り継ぎ割引運賃を設定した。</p> <p>また、交通事業者によるイオンモール木更津で買い物した方や運転免許証を警察に返納した65歳以上の方などを対象とした割引運賃になるサービスを実施している。</p>												
今 後 の 方 針												
引き続き、運行事業者や観光事業者等と連携し、お得な切符の販売を検討するなど、公共交通の利用促進及び地域の活性化を図る。												

事業10	利用促進による潜在需要の掘り起こし											
ア	公共交通マップの作成、モビリティマネジメント、お出かけ支援プログラム、公共交通イベントの開催、ラッピング車両の運行、観光客を対象とした公共交通のPR											
実施状況	実施主体				実施年次							
実施	君津市	交通事業者	市民 (地域住民)	その他 関係主体	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	○	○			→ 可能な段階で実施							
概 要												
<p>過度な自家用車の利用を抑制し、公共交通への利用転換を図るため、バス路線の運行ルートや乗り方案内を記載した公共交通マップ等を作成し、利用啓発及び潜在需要の掘り起こしを図る。</p>												
取 組 状 況												
<p>市広報紙(1月号)に路線バスの利用を促す記事を掲載するとともに、市ホームページ等でも公共交通に関する情報を随時掲載した。</p> <p>交通事業者においても、地域のフリーマガジンに高速バスの路線図・時刻表を掲載するとともに、自社ホームページでダイヤ改正等を随時掲載した。</p> <p>また、令和4年7月1日より、君津の魅力 راappingした高速バスを運行し、都心部に居住・通勤する方をターゲットに君津市及び交通アクセスのPRを行った。</p>												
今 後 の 方 針												
引き続き、利用促進の取り組みを検討していく。												

## 議題2 君津市地域公共交通計画（骨子案）について

### 1 策定の趣旨

公共交通を取り巻く状況として、人口減少や少子高齢化の進展、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う新たな生活様式浸透など、様々な課題への対応が必要になっている。

将来にわたり公共交通を維持・確保していくために、地域の実情に応じた公共交通のあり方や今後の取組みの方向性を示す君津市地域公共交通計画を令和4年、5年の2か年かけて策定することとした。

### 2 骨子案

別添のとおり

### 3 今後のスケジュール（予定）

令和5年9月～11月 たたき台・素案の作成

令和5年12月 パブリックコメント

令和6年3月 策定予定

～参考～

君津市地域公共交通計画策定工程計画	令和5年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.業務発注	プロポーザル											
2.地域公共交通に係る基本方針と目標の検討			基本方針と目標の検討									
3.目標実現のために必要な事業の検討				目標を達成するために必要な事業の検討								
4.計画の達成状況の評価（指標の設定）								指標の設定				
5.パブリックコメントの実施									パブコメ			
6.地域公共交通計画の策定				骨子案の作成		たたき台・素案の作成				パブコメの反映・計画のとりまとめ		国に送付
7.公共交通調査特別委員会			R5.6		R5.8							
8.地域公共交通会議の開催			R5.6		R5.8				R5.12		R6.2	R6.3

序章 君津市地域公共交通計画とは

①位置づけと役割

・地域公共交通計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号、令和2年改正)に基づく計画で「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする「地域交通のマスタープラン」。

②期間と範囲

(1)期間 令和6(2024)～令和12(2030)年度の7ヵ年 (2)対象範囲 市全域

(3)対象

既存の公共交通サービス+地域の多様な輸送資源（自家用有償旅客運送、福祉輸送等）+新技術(パーソナルモビリティ、シェアモビリティ、MaaS、AIによる配車、自動運転など)

③SDGs（持続可能な開発目標）への貢献

・17のゴールのうち、特に「11.住み続けられるまちづくりを」に関連し、SDGsの目標を踏まえて、地域公共交通計画に基づく施策を推進する。

④時代の潮流

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による公共交通の利用を控える動向が続くも、令和5年に5類指定となり復調傾向。
・ICT活用に伴う新たなモビリティサービスが提供され、シームレスな移動の実現による、これまでの「クルマ中心」から「人中心」のまちづくりへの転換
・誰一人取り残すことなく「ウェルビーイング」を実現するため、移動サービスの拡充が図られている。

第1章 現況

①市の現況

- ・人口・世帯
・人口流動
・交通手段分担率
・施設立地

②公共交通の現況

- ・鉄道
・高速バス
・路線バス
・コミュニティバス
・デマンド交通(きみぴょん号)
・その他の交通(スクールバス、企業送迎バス)

③移動特性・ニーズ

- ・市民の移動は「自分で車を運転する」が最も多く7割以上。「家族の送迎」も1割程度。75歳以上まで運転する意向の市民が6割程度。
・通勤・通学では市内移動が多く、次いで木更津市、富津市など近隣市への移動が多い。
・運行事業者は、「運転手不足が深刻」、「収益性が悪化傾向」、「電子マネー決済やオンライン予約への対応が迫られる」などの課題がある。

④国の方針

- ・SDGs
・脱炭素社会
・デジタル活用、DX 等

⑤上位・関連計画の方針

- ・君津市総合計画
・君津市都市計画マスタープラン
・君津市立地適正化計画 等

⑥地域公共交通網形成計画の評価

- ・鉄道、高速バスの利便性の向上などの取組みについては継続して実施しているものの、感染症拡大の影響もあったことから、利便性の高い公共交通体系の構築に向けた継続的な取組みが必要 など

第2章 課題

課題1 市内外へのアクセス性の向上

市内各地や東京圏、隣接市へのアクセスの維持・拡大に向けた公共交通ネットワークの強化が必要

課題2 交通モード間の接続性の強化

駅やバスターミナルなど主要な交通結節点における交通モード間の接続性の強化が必要

課題3 公共交通空白地域の縮小

君津・小糸・清和地区に存在する公共交通が利用しづらい地域(公共交通空白地域)の縮小が必要

課題4 社会情勢に対応した公共交通の利用促進

「公共交通利用者数の減少⇔公共交通サービスの低下」の負のスパイラルに陥らないために、運行サービスの改善等による公共交通の利用促進が必要

課題5 多様な輸送資源の効率的な活用

持続可能な公共交通体系を構築するため、路線バスやコミュニティバス等の既存サービスの最適化が必要

課題6 環境配慮や高度情報化の推進

脱炭素社会に向けた取組みやデジタル技術を活用したDXなど時代の潮流に対応した取組みが上位・関連計画にも位置づけられ、利用者意欲も高い

課題7 公共交通に対する負担額の最適化

市民の生活を支える公共交通の持続可能性を確保するため公共交通に対する行政負担の最適化が必要

第3章 地域公共交通計画の理念・方針

①地域公共交通計画の基本理念

持続可能な公共交通体系の構築により、誰もがニーズに応じて快適に移動できる環境づくり

②地域公共交通計画の基本方針

基本方針 ① 市民・来訪者の移動ニーズに合った公共交通ネットワークの強化

市民や本市への来訪者が市内外に移動する際のニーズは、利用する目的や時間等によりそれぞれ異なります。

そのため、多様な輸送資源の活用による相互連携や拠点間のアクセスを確保し、利用者ニーズに合わせて最適化を図ることで、公共交通ネットワークを強化し、シームレスな移動を目指します。

基本方針 ② 誰もが利用しやすい移動環境の創出

公共交通の利用しやすさが改善されることで、誰もが快適に移動することが可能となり、公共交通の価値や質の向上が期待できます。

そのため、先端技術の活用やユニバーサルデザイン等の視点をふまえた、利用者の満足度の高い移動環境を創出します。

基本方針 ③ 持続可能な公共交通をみんなで支え合う取組の推進

持続可能な公共交通を形成するためには、行政や交通事業者による移動サービスを改善すると同時に、より多くの方に利用してもらうことが重要です。

そのため、誰もが公共交通機関に関心をもち、公共交通による移動の重要性を認識する機会を創出するなど、みんなで公共交通を支える取組を推進します。

第4章 地域公共交通計画の目標

第3章で設定した基本方針に基づき、地域公共交通の目標及び達成すべき指標を位置づける。数値指標の設定においては、上位関連計画との整合を図る。

※各目標に一次指標(直接効果)及び二次指標(波及効果)をそれぞれ設定

・一次指標(直接効果):毎年度評価・進捗管理が可能指標/公共交通単体として評価

・二次指標(波及効果):最終年度などに確認する指標/まちづくり全体としての評価

目標① .....

一次指標1-1-1 ○○○○ 二次指標1-2-1 ○○○○

目標② .....

一次指標2-1-1 ○○○○ 二次指標2-2-1 ○○○○

目標③ .....

一次指標3-1-1 ○○○○ 二次指標3-2-1 ○○○○

目標④ .....

一次指標4-1-1 ○○○○ 二次指標4-2-1 ○○○○

第5章 目標を達成するための施策

第4章で設定した目標を達成するための具体的な施策について以下の項目を整理し、施策実施のスケジュールを一覧表で整理。

・施策名、概要、実施主体、実施時期 など

施策1 .....

施策2 .....

施策3 .....

施策4 .....

施策5 .....

施策6 .....

第6章 地域公共交通計画の推進

- (1)計画の達成状況の評価 PDCAサイクル (2)計画の推進体制 君津市地域公共交通会議にて進捗管理

# 君津市地域公共交通計画の課題と基本方針・目標

## 1. 課題の整理を踏まえた地域の移動課題の解決に資する方針〔基本方針、目標〕

昨年度に設定した7つの課題をベースに  
地域の移動課題の解決に資する基本方針、目標を設定

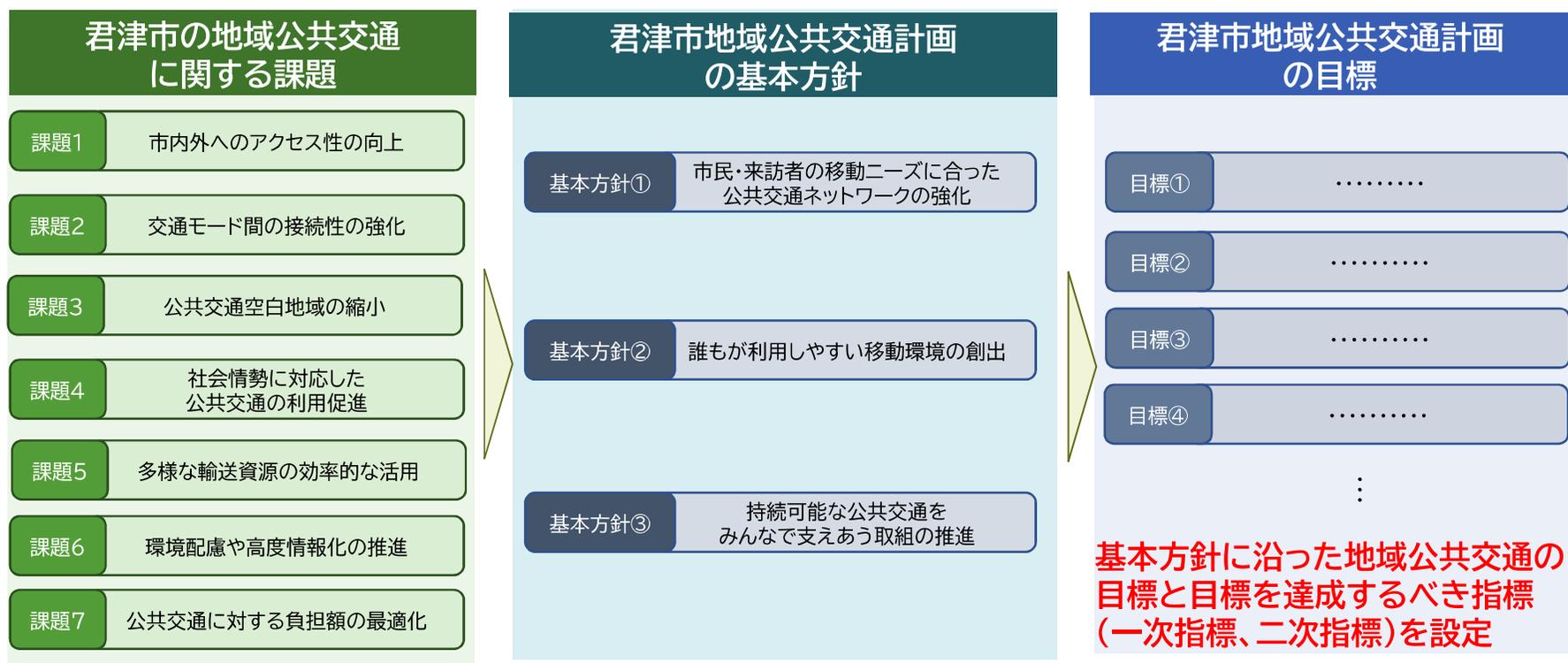


図 本市の移動課題と基本方針、目標の関係イメージ

# 君津市地域公共交通計画の基本方針

## 1. 課題の整理を踏まえた地域の移動課題の解決に資する方針〔基本方針、目標〕

### 基本方針①

### 市民・来訪者の移動ニーズに合った公共交通ネットワークの強化

市民や本市への来訪者が市内外に移動する際のニーズは、利用する目的や時間等によりそれぞれ異なります。

そのため、多様な輸送資源の活用による相互連携や拠点間のアクセスを確保し、利用者ニーズに合わせて最適化を図ることで、公共交通ネットワークを強化し、シームレスな移動を目指します。

#### ■関連する君津市の地域公共交通の主な課題

課題  
1

市内外へのアクセス性の向上

市内各地や東京圏、隣接市へのアクセスの維持・拡大に向けた公共交通ネットワークの充実が必要

課題  
2

交通モード間の接続性の強化

駅やバスターミナルなど主要な交通結節点における交通モード間の接続性の強化が必要

課題  
3

公共交通空白地域の縮小

君津・小糸・清和地区に存在する公共交通が利用しづらい地域(公共交通空白地域)の縮小が必要

課題  
4

社会情勢に対応した公共交通の利用促進

「公共交通利用者数の減少⇔公共交通サービスの低下」の負のスパイラルに陥らないために、運行サービスの改善等による公共交通の利用促進が必要

課題  
5

多様な輸送資源の効率的な活用

持続可能な公共交通体系を構築するため、路線バスやコミュニティバス等の既存サービスの最適化が必要

# 君津市地域公共交通計画の基本方針

## 1. 課題の整理を踏まえた地域の移動課題の解決に資する方針〔基本方針、目標〕

### 基本方針②

### 誰もが利用しやすい移動環境の創出

公共交通の利用しやすさが改善されることで、誰もが快適に移動することが可能となり、公共交通の価値や質の向上が期待できます。

そのため、先端技術の活用やユニバーサルデザイン等の視点をふまえた、利用者の満足度の高い移動環境を創出します。

#### ■関連する君津市の地域公共交通の主な課題

- |         |                    |   |
|---------|--------------------|---|
| 課題<br>1 | 市内外へのアクセス性の向上      | 市内各地や東京圏、隣接市へのアクセスの維持・拡大に向けた公共交通ネットワークの充実が必要                        |
| 課題<br>2 | 交通モード間の接続性の強化      | 駅やバスターミナルなど主要な交通結節点における交通モード間の接続性の強化が必要                             |
| 課題<br>3 | 公共交通空白地域の縮小        | 君津・小糸・清和地区に存在する公共交通が利用しづらい地域(公共交通空白地域)の縮小が必要                        |
| 課題<br>4 | 社会情勢に対応した公共交通の利用促進 | 「公共交通利用者数の減少⇔公共交通サービスの低下」の負のスパイラルに陥らないために、運行サービスの改善等による公共交通の利用促進が必要 |
| 課題<br>6 | 環境配慮や高度情報化の推進      | 脱炭素社会に向けた取組みやデジタル技術を活用したDXなど時代の潮流に対応した取組みが上位・関連計画にも位置づけられ、利用者意向も高い  |

# 君津市地域公共交通計画の基本方針

## 1. 課題の整理を踏まえた地域の移動課題の解決に資する方針〔基本方針、目標〕

### 基本方針③

### 持続可能な公共交通をみんなで支えあう取組の推進

持続可能な公共交通を形成するためには、行政や交通事業者による移動サービスを改善すると同時に、より多くの方に利用してもらうことが重要です。

そのため、誰もが公共交通機関に関心をもち、公共交通による移動の重要性を認識する機会を創出するなど、みんなで公共交通を支える取組を推進します。

#### ■関連する君津市の地域公共交通の主な課題

- |         |                    |   |
|---------|--------------------|---|
| 課題<br>4 | 社会情勢に対応した公共交通の利用促進 | 「公共交通利用者数の減少⇔公共交通サービスの低下」の負のスパイラルに陥らないために、運行サービスの改善等による公共交通の利用促進が必要 |
| 課題<br>5 | 多様な輸送資源の効率的な活用     | 持続可能な公共交通体系を構築するため、路線バスやコミュニティバス等の既存サービスの最適化が必要                     |
| 課題<br>6 | 環境配慮や高度情報化の推進      | 脱炭素社会に向けた取組みやデジタル技術を活用したDXなど時代の潮流に対応した取組みが上位・関連計画にも位置づけられ、利用者意向も高い  |
| 課題<br>7 | 公共交通に対する負担額の最適化    | 市民の生活を支える公共交通の持続可能性を確保するため公共交通に対する行政負担の最適化が必要                       |